

## ■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

### 施策（1） 活動プログラムの充実

スポーツには「する、みる、ささえる」など多様な関わり方があることから、だれでも、いつでも、どこでも、いつでもスポーツ活動に関わることができるよう、様々なプログラム活動への参加の機会を提供する。

(1) 主たる内容 ○スポーツへの参加機会の拡大 ○スポーツを始めるきっかけづくり ○地域におけるスポーツ活動推進 ○競技力の向上 ○子どもの体力向上	(2) 参考数値				
	評価指数 / 年度	H29	H30	R1	R2
	各種大会、イベント参加者数	27,635	24,204	24,162	9,834
	全国大会等への出場者数	453	494	420	92
(3) 関連事業の取組み状況 全53事業（全て継続） 子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象に様々な事業を実施している。特に高齢者世代に対しては多くの事業を実施することができている（長寿課9事業）。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業や縮小して開催する事業などが発生した。					
(4) 課題への取組み状況 これまでの事業については継続して実施しているが、スポーツに取り組む時間を取りにくい世代（女性及び働く世代など）に対する解決策などをとることができていない。					
(5) 評価、今後の方向性 ・スポーツの実施頻度の低い女性及び働く世代のスポーツ実施率の向上に向けて、新規事業の実施や現事業の拡大や見直しを行い、他課等と連携した事業の実施（新規・継続・拡大）を検討する。 ・人口割合の高い高齢者層を対象にした事業を実施（継続及び拡大）し、スポーツ実施率の向上を目指していく。 ・次世代を担う子どもたちが、幼少期からスポーツに触れる機会を増やし、スポーツが好きになるような事業の実施を検討する。					

■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

施策(2) クラブ・団体の育成

市民が所属するクラブ・団体の安定的な運営の確保とともに、組織力の強化を支援し、クラブ・団体の育成を通じて、スポーツ活動の充実を図る。

内容	(2) 参考数値				
	評価指数 / 年度	H29	H30	R1	R2
(1) 主たる内容 ○総合型地域スポーツクラブの育成 ○統括団体の組織強化	総合型地域スポーツクラブ加入者数	2,208	2,198	2,148	1,391
	スポーツ協会加入者数 (スポーツ少年団加入者数)	11,966 (706)	11,775 (681)	11,959 (655)	11,831 (569)
	レクリエーション協会加入者数 (うちスポーツ関係団体分)	1,690 (846)	1,690 (857)	1,686 (860)	1,714 (848)
(3) 関連事業の取組み状況 全7事業(全て継続) 各団体へ補助金の交付等による活動支援や広報活動の実施、各団体主催(主管)の大会等の開催などを行っている。					
(4) 課題への取組み状況 平成29年度の市民アンケートで総合型地域スポーツクラブ認知度「クラブを知らない人」が68.8%あったが、認知度向上及び会員増に向けた地区回覧や広報誌への掲載に取り組んでいる。					
(5) 評価、今後の方向性 [総合型地域スポーツクラブ] ・認知度の向上に向け、情報の発信だけでなく、市民ニーズに合った教室や講座などの開設を各クラブに検討頂くなど、自主的・自立的な取組みをするような体制を整える。また、会員数増加に向けた取組みを行う必要がある。 【参考：総合型地域スポーツクラブへの参加意向】 「自分の希望する活動があれば参加してみたい(27.4%)」 「どんなことができるのか分からないのでとりあえず知りたい(38.5%)」 [スポーツ協会・レクリエーション協会] ・各団体の加入者数について、この数年はほぼ横ばいであるが、微増を目指す。 ・各団体は地域のスポーツ振興の中心であり、本市のスポーツ推進の中核を担う組織であるため、継続した支援を行い、組織の充実・強化を図っていく。					

■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

施策（3） 施設の整備・充実・開放

さまざまなスポーツ施設において、その利用状況なども加味し、どのようなサービスを、どの施設で提供するかを考慮して、市民が活動しやすい施設の整備・充実を検討する。

また、市民が安心して、気軽にスポーツ施設を利用することができるよう、既存施設については、より適正な管理・運営に努める。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の計画的な整備・修繕</li> <li>○既存施設の適正な管理運営</li> <li>○活動拠点の充実</li> </ul>	評価指数 / 年度	H19	H25	H29
	スポーツ施設の利用に満足している人（%）	45.3	66.6	74.2
(3) 関連事業の取組み状況 全17事業（うち1事業縮小） 市民の運動活動拠点として、施設を管理する指定管理者と連携しながら、総合運動公園や体育施設の適正な管理・運営を行っている。なお、各施設の利用状況については別紙体育施設使用状況のとおり。				
(4) 課題への取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業体育館の借用については令和2年7月以降休止中である。新規借用施設について情報収集は行ったが、企業への働きかけはできていない。</li> <li>・小中学校体育施設スポーツ開放事業については、利用の受付を公共施設予約案内システムで行うよう運用を変更し、利用者の利便性の向上及び学校の事務負担を軽減した。</li> </ul>				
(5) 評価、今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度指定管理者の指定期間が満了し、令和4年度から指定管理者との契約内容が更新されるため、引き続き利用者の利便性や安全性の向上、地域との連携などを強化し、安定かつ質の高いサービスが提供できるような施設管理や運営体制を整える。</li> <li>・市内体育施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修を検討する。</li> <li>・既存施設の利用状況を分析し、施設の過不足や施設における利用種目、利用日時等の利用形態の見直しの検討や既存施設の増設・移転・新設の要否を検討する。</li> </ul>				

### ■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

#### 施策（4） ささえる人材の育成

市民がスポーツ活動を継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者やその運営を支援するスポーツボランティアなどのささえる人材が必要であることから、市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるよう、指導者やスポーツボランティアなどのささえる人材の育成に努める。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値				
○優れた指導者の育成と確保	評価指数 / 年度	H29	H30	R1	R2
○地域のスポーツリーダーの充実	スポーツリーダー養成講座修了受講者数	37	41	48	中止
○指導者のネットワークづくり	「ささえるスポーツ」の認知度（一般）（％）	16.1	-	-	-
○スポーツボランティアの育成と確保	スポーツ推進委員認知度（知らない人）（％）	60.2	-	-	-
<p>(3) 関連事業の取組み状況 全5事業（全て継続）                      スポーツ推進委員事業を実施し、地域のスポーツリーダーが育つような取組みを行っている。</p>					
<p>(4) 課題への取組み状況                      スポーツボランティアを一般募集するイベントがほとんどないため、「ささえるスポーツ」を実践する機会の提供の拡大が図れていない。</p>					
<p>(5) 評価、今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンパートナーOB・OG を指定管理者が行うスポーツ教室の講師として招くなど、スポーツチームが多い地域性を活かし、引退したアスリート等が指導者として活動できる環境を整備する方法を研究する。</li> <li>・身近なスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の活動支援を行う。</li> <li>・活動写真パネルの設置などによりスポーツ推進委員の認知度向上と活動・イベント周知を行い、気軽に市民がスポーツに取り組める環境を整備する。</li> <li>・スポーツイベントを行う際に、指定の団体（学校や近隣企業など）のみにボランティアを募集しイベントを開催するだけでなく、幅広く募集する方法を検討する。</li> <li>・スポーツリーダー養成講座の修了受講者の活用方法について検討する。</li> </ul>					

### ■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

#### 施策（5） 情報の提供

市民がいつでも、どこでも手軽にスポーツに関する情報を得られる環境づくりに努め、市民のスポーツ活動のきっかけづくりや活動の継続を図る。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値			
○スポーツ情報の積極的な発信	評価指数 / 年度	H19	H25	H29
	スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合 (%)	13.5	13.7	17.2
	スポーツ行事の情報源 (市民だより) (%)	68.6	64.6	35.4
(3) 関連事業の取組み状況 全11事業 (うち2事業拡大) 拡大事業「市民だより、ホームページ、あいかりへの掲載」 「刈谷市拠点トップアスリートのPR」(市民だより)				
(4) 課題への取組み状況 ・アンケートの結果を受けて、これまでの発信方法に加え、Instagramで情報を発信するなど、様々な媒体で情報の発信を行った。 ・イベント情報だけでなく、ホームタウンパートナーチーム特集、オリンピック特集を市民だよりに掲載し、スポーツ情報により親しみをもって頂くよう工夫をした。				
(5) 評価、今後の方向性 ・SNS等の普及によりスポーツ行事の情報を市民だよりから得る割合が相対的に低下し(平成19年度68.6%→平成29年度35.4%)、様々な広報媒体から情報を得る時代になった。こうしたニーズに対応するため、様々な方法でスポーツ情報を発信し、広く市民にスポーツ情報を知ってもらうようにする。 (参考：スポーツ課公式 Instagram フォロワー数 998名 (令和3年9月1日時点)) ・情報発信にあたっては、ターゲットを整理し、スポーツ実施率の向上に直結するような効果的な方法を検討する。(例：学校、子育て世代、働く世代 など)				

■第3次スポーツマスタープラン 令和2年度取組み評価シート

施策(6) スポーツを通じたまちづくり

本市の恵まれたスポーツ環境を活用し、スポーツを通じて派生するさまざまな交流活動、市の魅力向上・発信など、魅力と活力にあふれるまちづくりに取り組む。

(1) 主たる内容	(2) 参考数値				
	評価指数 / 年度	H29	H30	R1	R2
○スポーツ交流の促進					
○ホームタウンパートナーチームとの連携による市の魅力向上・発信	ホームタウンパートナーチームの認知度 (%) ※H25 は市内スポーツチームを知っているか質問	37.8	-	-	-
○スポーツを通じたまちづくり	トップリーグ等の試合数(回)	59	58	51	35
	キラキラ教室開催数(回)	3	2	5	1

(3) 関連事業の取組み状況 全8事業(全て継続)

東京2020オリンピックの事前キャンプや国際大会の招致活動、様々な競技の日本トップレベルの大会の開催により、市民に優れたスポーツ文化に多く触れてもらうための機会の提供に努めた。

(4) 課題への取組み状況

- ・本市の大きな地域性であるホームタウンパートナーチームと協力し、地域貢献活動を行う機会を拡充し実施をした。(例：豊田自動織機シャトルズによる530運動、交通安全運動、豊田自動織機シャイニングベガによる刈谷球場の清掃活動、ジェイテクト STINGS による「でんぐり恐竜」の工作活動など)
- ・キラキラ教室が中止となった代案として、スポーツ教室動画配信等を行い、アスリートと触れ合う機会を失われないよう、スポーツを通じた交流の実現に努めた。また、学校訪問型キラキラ教室を試行的に実施(雁が音中：ソフトボール)し、令和3年度からの取組みに向けて準備を行った。

(5) 評価、今後の方向性

- ・ホームタウンパートナーチームがもっと地域に根付いたものとなるように、スポーツ分野以外の取組み(他課等との連携の拡充)を拡充する。
- ・教育現場と連携した取組みの強化(学校訪問型キラキラ教室など)を拡充する。
- ・ホームタウンパートナーチームの認知度向上に向けた取組みを検討する。  
(参考：各チームによるスポーツ教室動画の作成など)